



# 輝け！千葉・日本一 今こそ立ち上がろう！ 子どもたち、そして孫たちのために。

千葉県知事 森田 健作

千葉県知事に就任して早くも四カ月が過ぎました。

この間、私は、千葉県の抱えるさまざまな課題についての認識を深めながら、重要施策の実行を始めとする県政運営に当たってまいりました。

中でも、「アクアライン通行料八百円」という大きな公約の実現に踏み込むことができました。

これはひとえに、千葉県の力、千葉県民の力であると思います。私はあらためて、我が県が持つ大きなポテンシャルを実感した次第です。

このアクアラインの値下げは、千葉県はもとより、首都圏全体の経済活性化、ひいては日本経済の活性化に大きく貢献するものだと考えています。

## 一 中長期的な県政運営に向けて

さて、最近の厳しい経済情勢や財政状況を踏まえ、千葉県のポテンシャルを最大限に生かし、県政の重要施策を着実に推進していくためには、中長期的な視点に立った県政運営が欠かせません。

このため、「総合計画」、「行政改革計画」及び「財政健全化計画」の三計画を今年度中に策定いたします。策定に当たりましては、より整合性と実効性のある計画にするため、横断的かつ総合的に調整を行う「計画策定調整会議」を設置しました。

## 二 平成二十一年度六月補正予算

次に、平成二十一年度六月補正予算について、いくつか要点をご紹介します。

### ① マニフェストへの的確な対応

〔アクアライン通行料を八百円に値下げ〕

本年八月一日から平成二十三年三月までの一年八カ月間、ETC車に限り、東京湾アクアラインの通行料を全日、普通車八百円、大型車千三百二十円に引き下げる社会実験を行っています。これにより物流の活性化や観光客の増加が見込まれます。

また、東関東自動車道館山線の四車線化を進めるとともに、観光道路ネットワークの強化、観光地における駐車場・トイレ・案内標識等の整備などを行い、利用者のアクセス・快適性の向上を図ります。

### 〔移動交番の配備〕

地域の防犯力を強化し、安全・安心なまちづくりを推進するため、県民の身近で活動する移動交番車十五台を犯罪発生件数の多い地域を中心に配備します。

### 〔私学助成の充実〕

私立小・中学校の経常費補助については、県の補助単価を国の標準単価まで引き上げます。

また、高等学校及び幼稚園については、県による補助単価の上乗せを復活します。

### 〔子育て施策の充実〕

待機児童の早期解消を図るため、国の交付金により造成した基金を活用し、保育所の施設整備や子育て支援のための拠点整備を進めるとともに、保育所の施設整備費に対して県独自に補助金の臨時的加算措置を行い、緊急的に整備を促進します。

### 〔新型インフルエンザ対策の強化〕

喫緊の課題である新型インフルエンザ対策として、抗インフルエンザウイルス薬の備蓄を進めるとともに、感染の拡大防止のために設置する発熱外来等において必要となる

医薬品・防護具等については、予備費により購入する分と併せて早期の整備を図ります。

## ② 国の「経済危機対策」への迅速な対応

### 〔経済・雇用対策の拡充〕

依然として厳しい雇用情勢を踏まえ、「ふるさと雇用再生特別基金」、「緊急雇用創出事業臨時特例基金」を活用し、千七百人の新規雇用を創出します。

また、中小企業の資金繰りを支援するため、セーフティネット資金の融資枠をさらに六百億円拡大します。

### 〔公共事業の前倒し実施等〕

早期に整備することが望ましい施設や箇所については、新たな国の交付金なども活用し、公共事業を積極的に前倒しして実施します。

特に、県立学校や橋りょう等の耐震化、生活関連道路の維持補修、特別支援学校や社会福祉施設の改修など、県民生活に密接に関連する社会資本については、重点的に整備を進めます。

## 三 おわりに

千葉の持てる宝々財産を発掘し、一つひとつ丁寧に磨き上げ、日本一の光輝く千葉県を築いていくことが、先人への恩返しであり、次世代、孫の世代に対する私たちの責任だと思えます。

今こそ、千葉が首都圏をリードし、「千葉県民くらし満足度日本一」を目指す絶好のチャンスであると考えています。

千葉県に生まれ、育ち、住み、そして働いてよかったと、自信と誇りを持てるまちづくりを目指し、今後も全力で取り組んでまいります。